



2025年度

栗根橋

福山市 加茂 町 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	第1回変更
	工事延長	L=12.0m
橋長	L=12.0m	
有効幅員	W=5.1m	
断面修復工	A=1.1m ² (V=0.1m ³)	
支承部補修工	一式	
仮設工	一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（栗根橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・「令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 施工条件

第1節 施工時期・時間の制限

- ・施工内容：河川内施工
- ・時期：10/21～3/31（非出水期）
- ・上記によりがたい場合は別途協議すること。

第2節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：広島県東部建設事務所
- ・協議内容：足場設置及び土のう積等施工内容全般について

第3節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第4節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：河川内施工のための足場及び土のう積

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第7節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）

・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあつては、それを示す書類を含む）

・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの

・各処分場の現地確認写真

・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

(3) 工事受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第8節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・実施伝票は原本を提出すること。

第9節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。の受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第10節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-07.09.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.105m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0001 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	0.1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 Co殻 無筋	0.2	t			F0000000003 00
橋梁支承工	1	式			Y1G0320 レベル2
PC橋支承工	1	式			Y1G032002 レベル3
支承補修		基			Y1G03200201 レベル4
支承部補修工 高耐久性防水・防食システム WAX-TAPE	1	式			V0003 00 単第0 -0003 表
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1G032804 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土のう積		m2			Y1G03280420 レベル4
土のう拵え・積立・撤去					V0002 00
	1	式			単第0 -0004 表
残土処理工					Y1G030310 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1G03031002 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離9.0km以下(7.0km超)					SPK25040002 00
	2	m3			単第0 -0006 表
残土等処分		m3			Y1G03031003 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土処分					F0000000005 00
	2	m3			
橋梁足場工					Y1A041201 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場 【安全ネットの有無】		m2			Y1G03240502 レベル4
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場	1	式			V0001 00 単第0 -0007 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	2	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

本工事費 内訳表

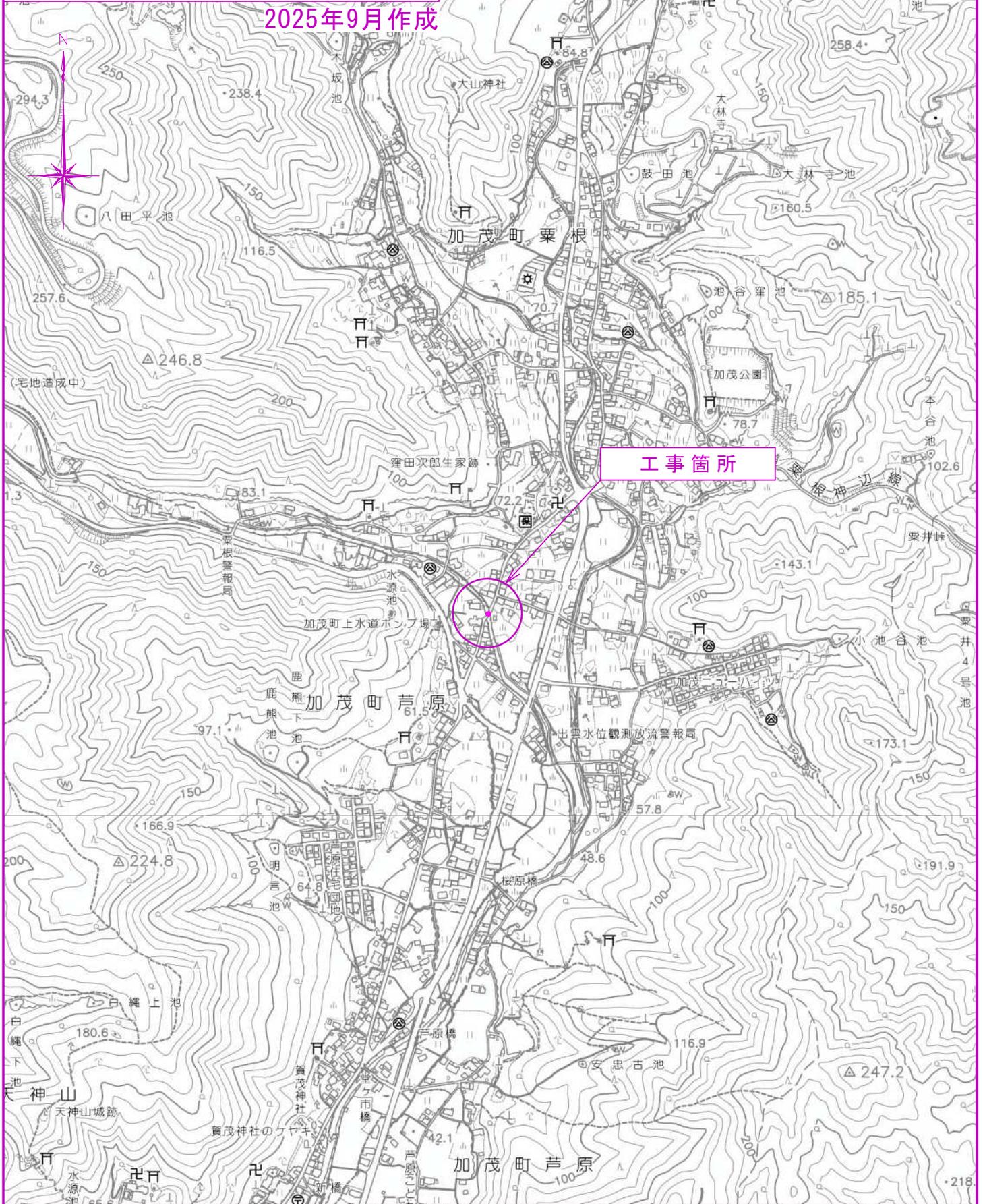
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

図面番号	1 / 7	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	粟根橋 (粟根中野幹線)		
工事箇所	福山市加茂町地内		

令和7年度
国補

福 山 市

2025年9月作成

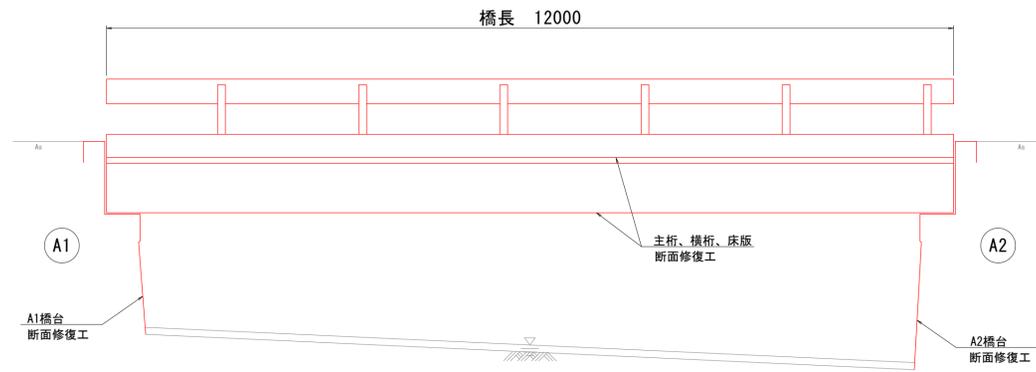


工事箇所

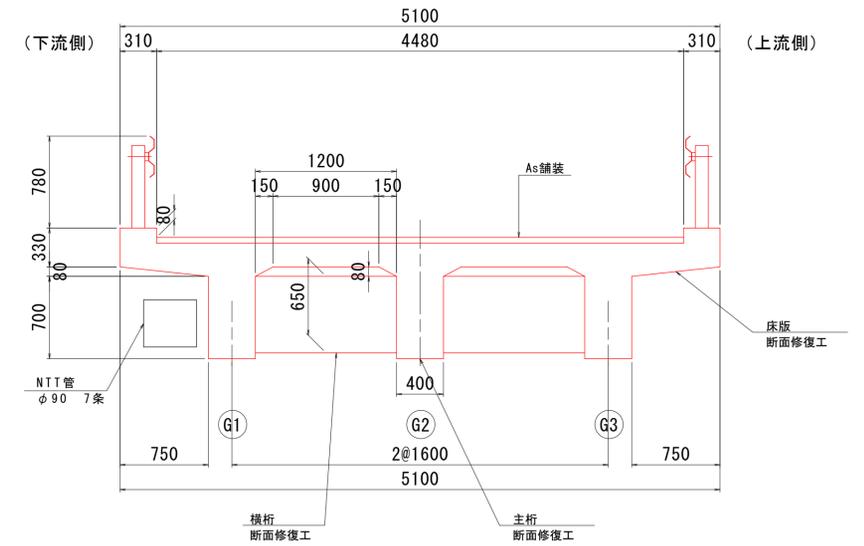
図面番号	2 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修一般図	番号	1 / 1
路線名	栗根橋 (栗根中野幹線)		
工事箇所	福山市加茂町地内		
福山市			

栗根橋 補修一般図

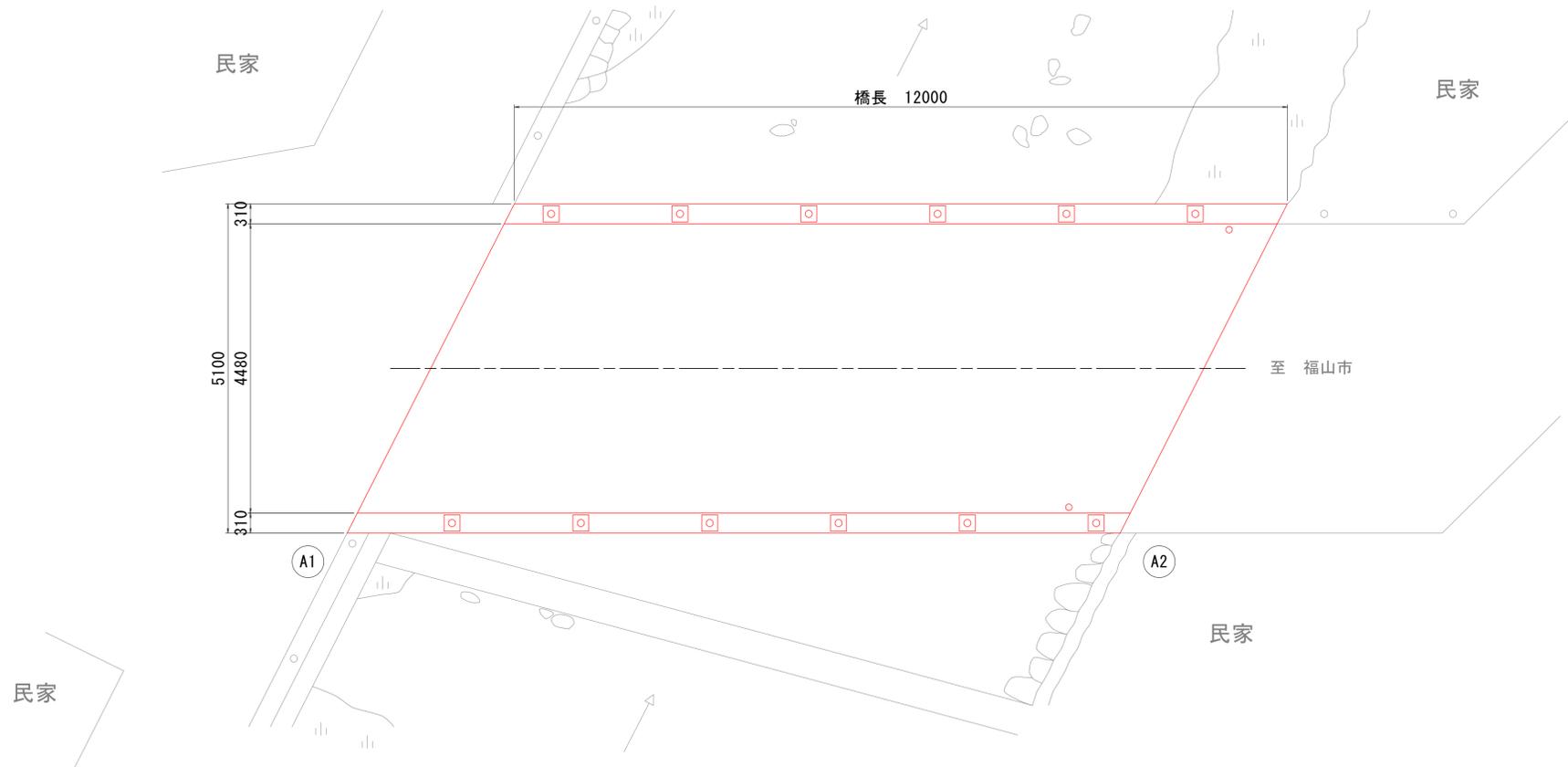
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



橋梁諸元	
橋梁名	栗根橋
所在地	福山市加茂町
路線名	栗根中野幹線
架橋年度	1950年
適用示方書	不明
活荷重・等級	不明
上部工形式	単純RCT桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	直接基礎
路下条件	河川
橋長	12.0m
幅員	全幅員 5.1m
点検履歴	2019年 11月
補修履歴	防護柵更新

補修工一覧表

部位	工種	
主桁	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
横桁	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
床版	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
A1、A2橋台	断面修復工	ポリマーセメントモルタル

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

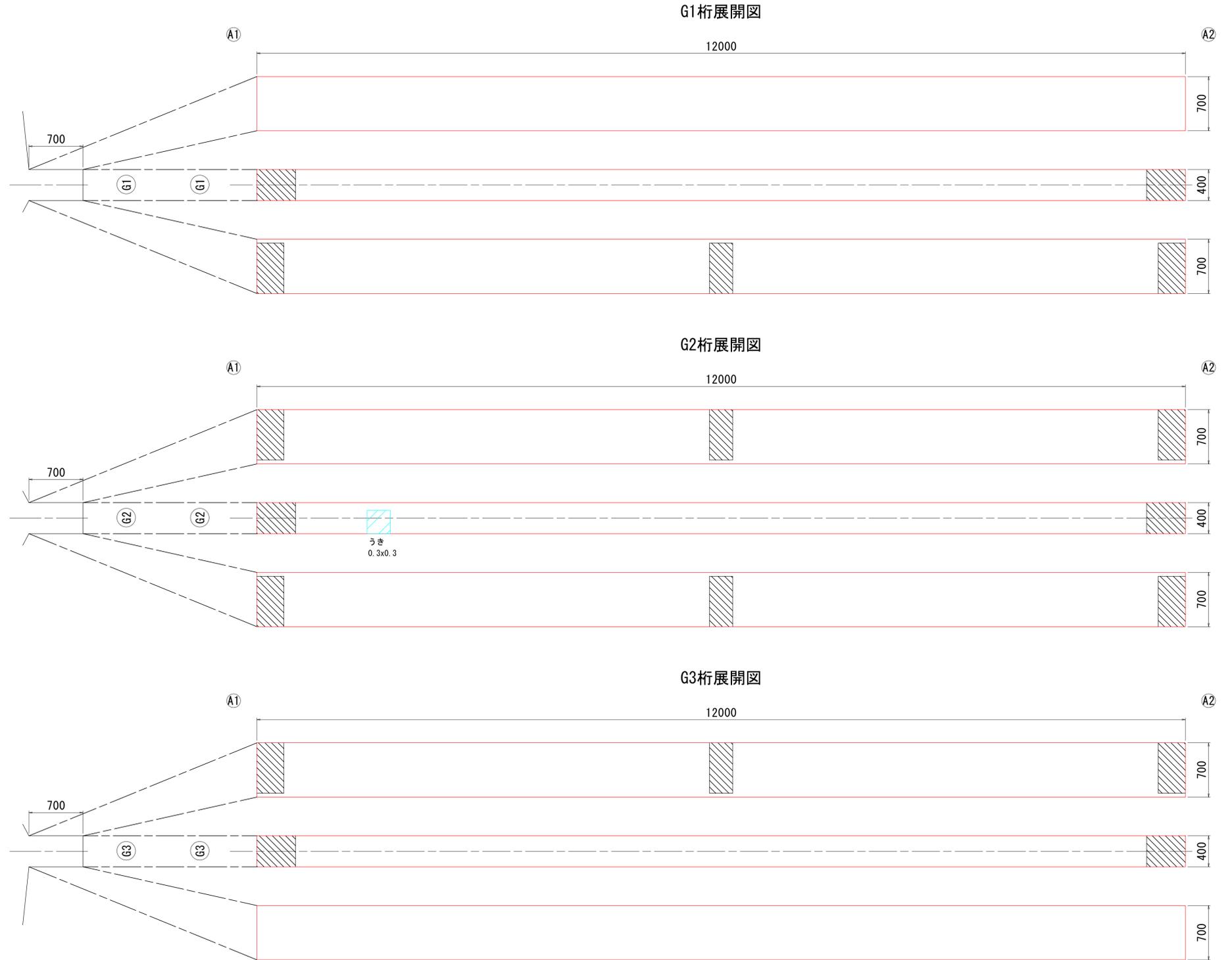
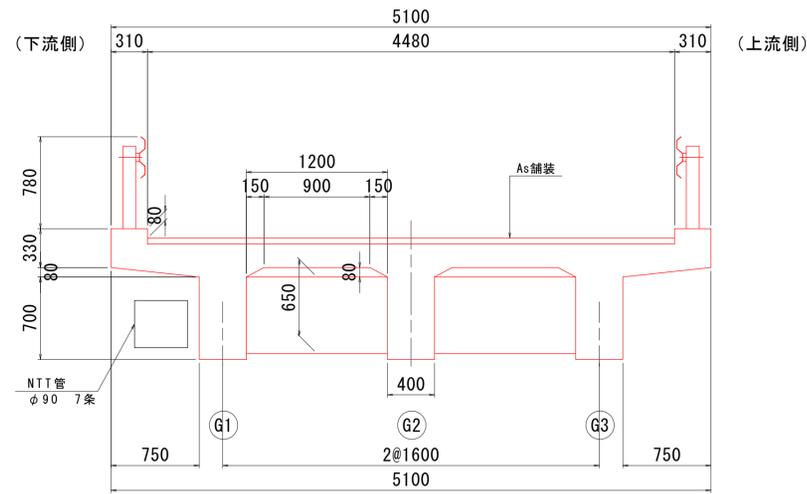
図面番号	3 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図 (その1)	番号	1 / 1
路線名	栗根橋 (栗根中野幹線)		
工事箇所	福山市加茂町地内		
福山市			

栗根橋 補修図 (その1) (主 桁 : 断面修復工)

S=1:30

令和7年度
国補
図面サイズ : A1

断面図 S=1:30



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
うき・剥がれ 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		断面修復工 (修復深さ10cm)

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	4 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図 (その2)	番号	1 / 1
路線名	栗根橋 (栗根中野幹線)		
工事箇所	福山市加茂町地内		
福山市			

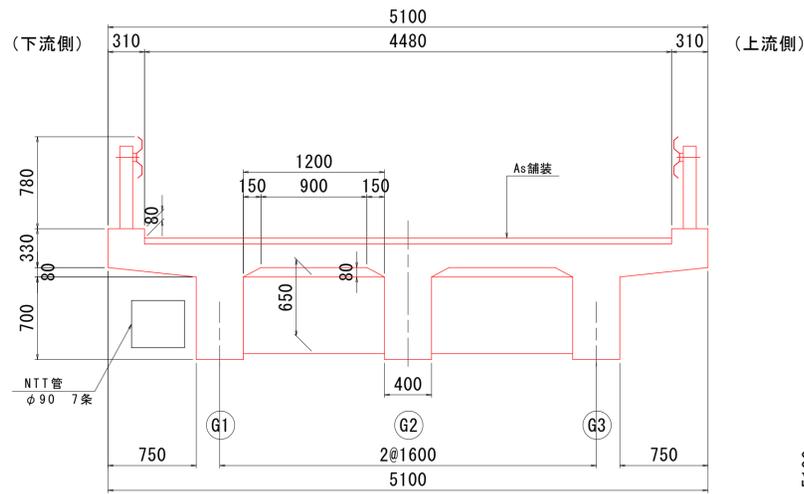
栗根橋 補修図 (その2)

S=1:30

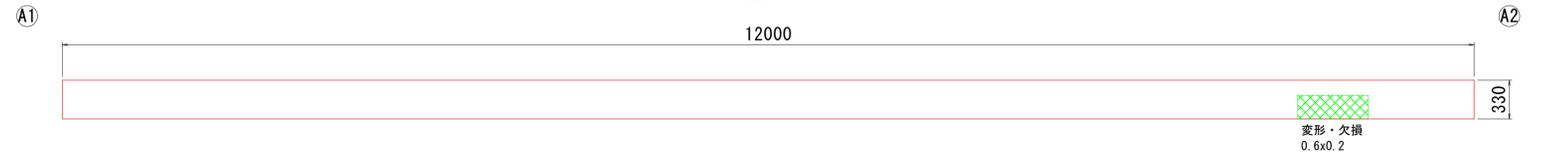
(床版、横桁：断面修復工)

令和7年度
国補
図面サイズ：A1

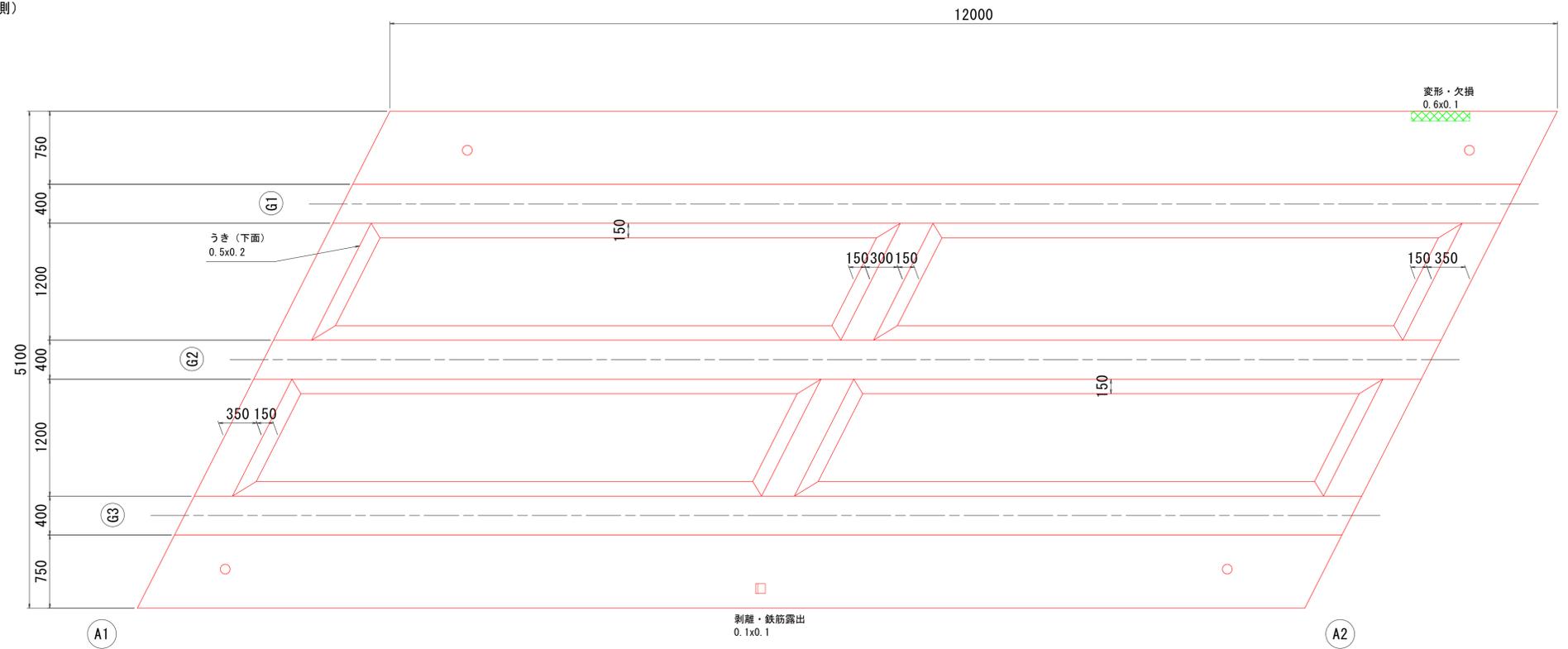
断面図 S=1:30



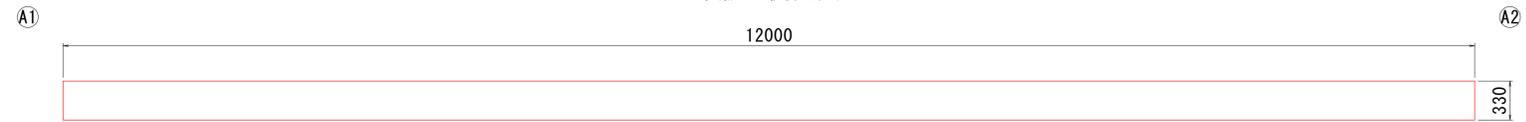
床版左側面図



平面図



床版右側面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[Green Hatched Box]	断面修復工 (修復深さ10cm)
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[Red Hatched Box]	
うき・剥がれ 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[Blue Hatched Box]	

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	5 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図 (その3)	番号	1 / 1
路線名	栗根橋 (栗根中野幹線)		
工事箇所	福山市加茂町地内		
福山市			

栗根橋 補修図 (その3)

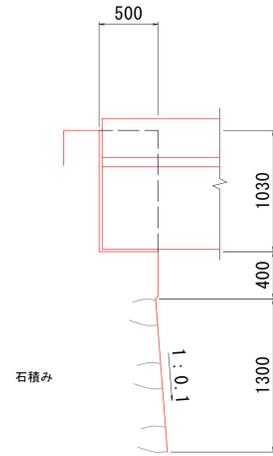
S=1:30

(A1、A2橋台：断面修復工)

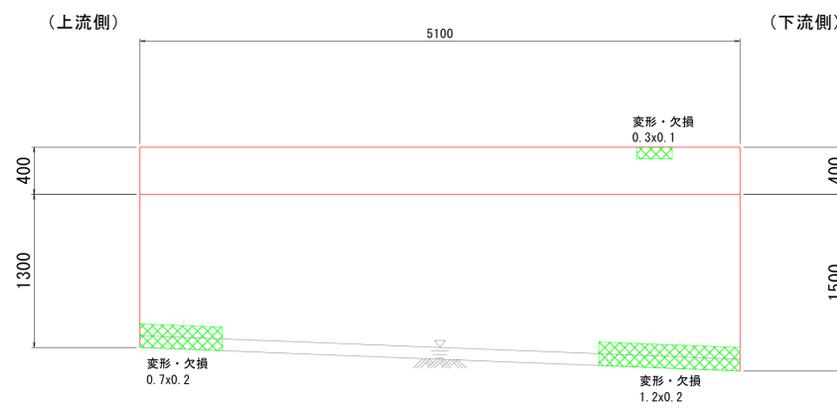
図面サイズ：A1



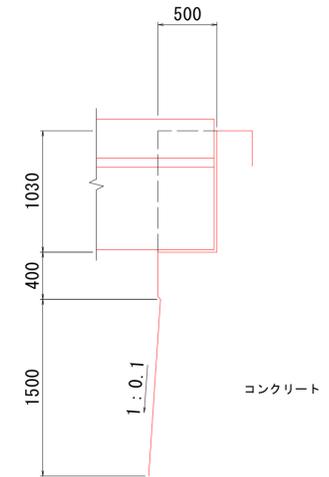
側面図
(上流側)



正面図

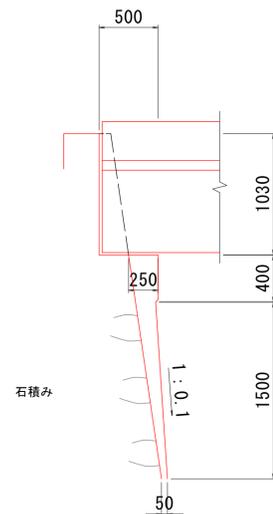


側面図
(下流側)

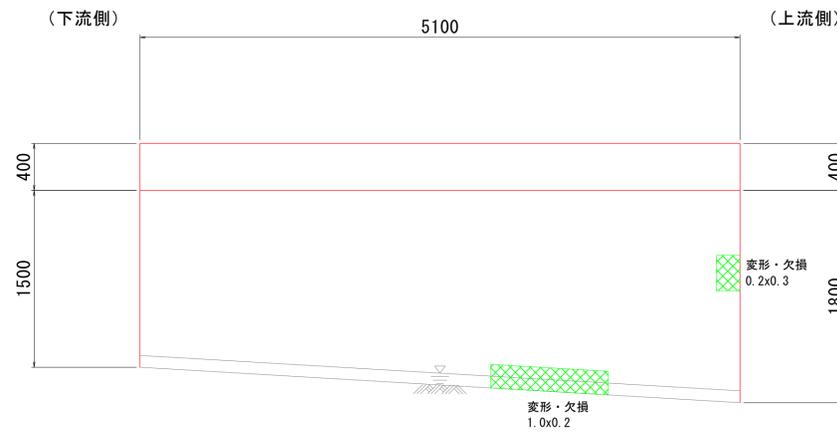


A2橋台

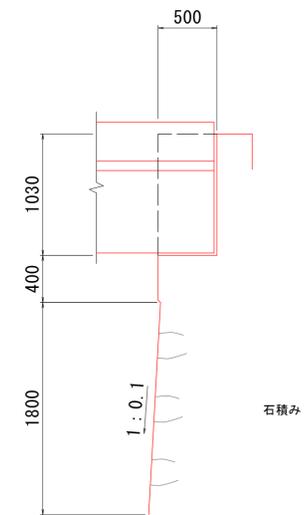
側面図
(下流側)



正面図



側面図
(上流側)



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
菱形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工 (修復深さ10cm)

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	6 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	支承補修図	番号	1 / 1
路線名	栗根橋 (栗根中野幹線)		
工事箇所	福山市加茂町地内		
福山市			

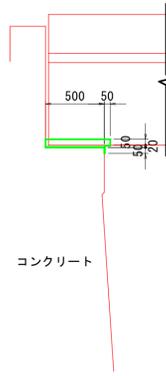
栗根橋 支承補修図



図面サイズ : A1

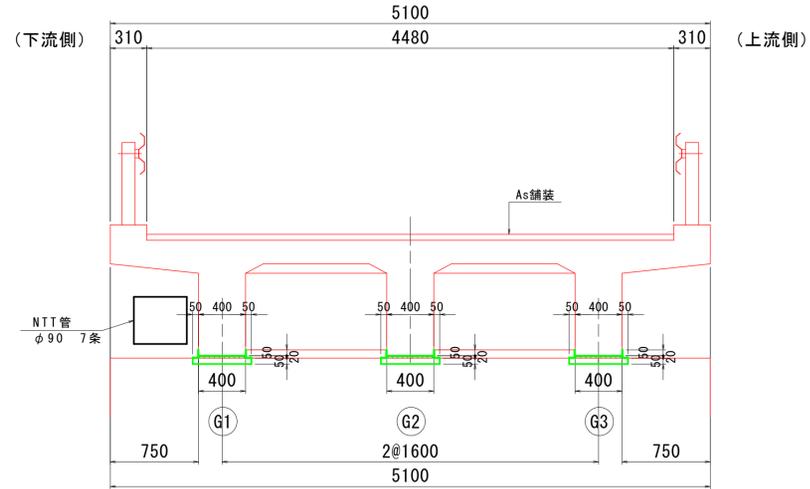
側面図

S=1:30



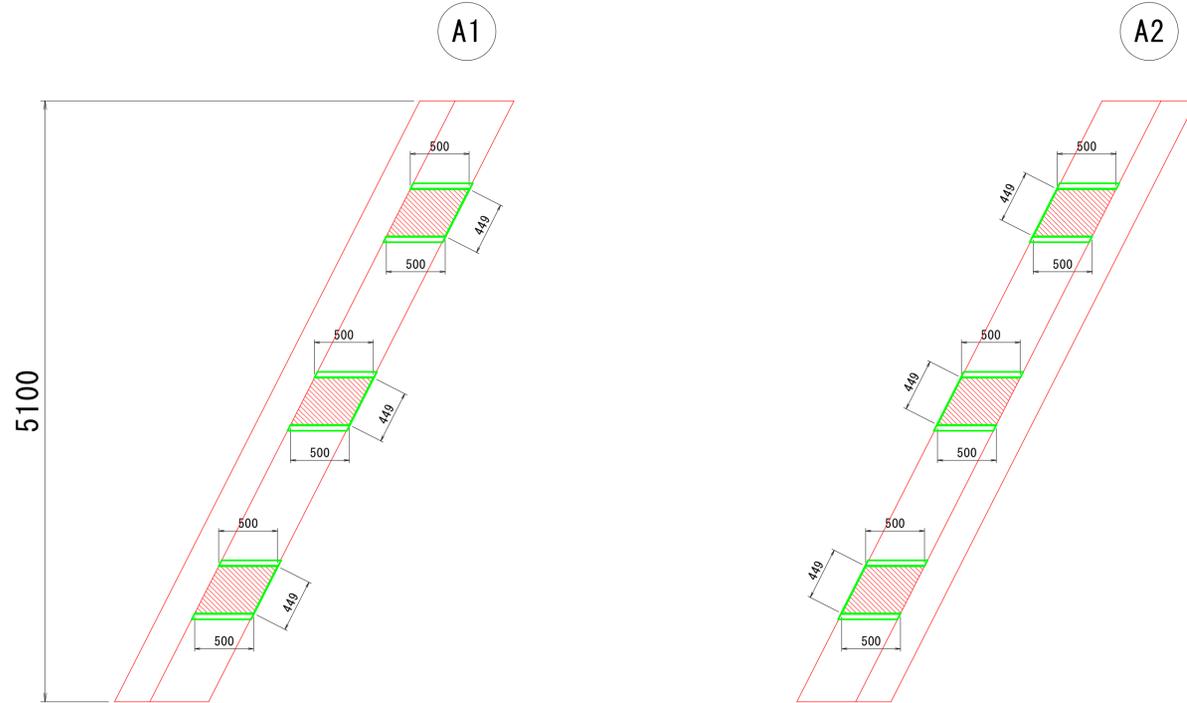
断面図

S=1:30



橋座平面図

S=1:30



凡例

記号	部位
	支承プレート

補修工法凡例

記号	補修対策工
	高機能長耐久性防食防水テープ

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

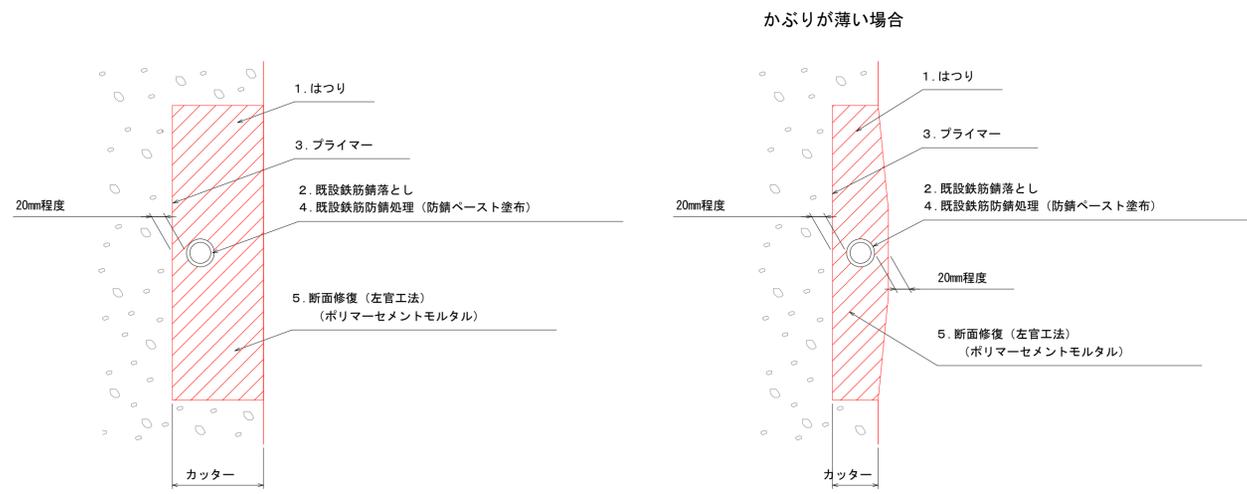
図面番号	7 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修要領図	番号	1 / 1
路線名	栗根橋（栗根中野幹線）		
工事箇所	福山市加茂町地内		
福山市			

栗根橋 補修要領図



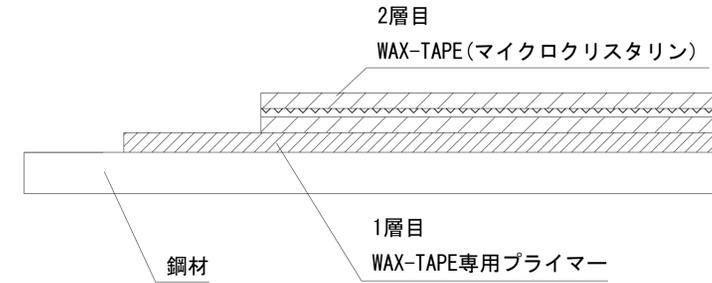
図面サイズ：A1

断面修復工



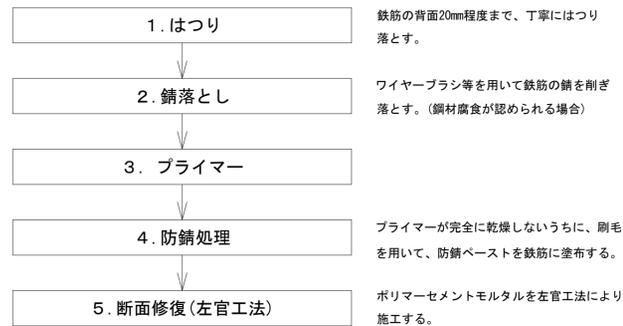
支承補修工

WAX-TAPE システム断面図

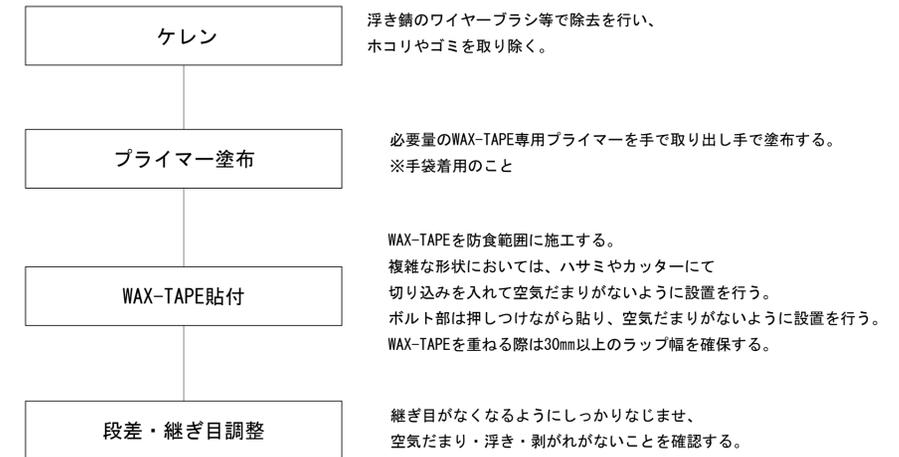


※WAX-TAPEはNETIS NO. SK-180017-A同等品以上とする。

断面修復工 フローチャート



WAX-TAPE設置工 フロー図



参 考 图 书

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0002 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,843.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0006 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離9.0km以下(7.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.25% 労務構成比:

71.03% 材料構成比: 8.72%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,984.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=37 距離9.0km以下(7.0km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
単管足場

S0380
安全ネット設置

単第0 -0008 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
とび工	8.400	人			安全ネット設置含む
普通作業員	1.800	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.800	日			
諸雑費	27	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=2	安全ネットを設置する	

§ 1. 補修数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	主 桁	横 桁	床 版	A1, A2橋台	支 承	合 計	設 計 数 量
断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	平面積	m ²	0.090	0.100	0.190	0.670		1.050	0.105
			カッター切断	m	1.200	1.400	3.400	8.800		14.800	
			はつリエ	m ³	0.009	0.010	0.019	0.067		0.105	
			プライマー工	m ²	0.090	0.100	0.190	0.670		1.050	
			断面修復工	m ³	0.009	0.010	0.019	0.067		0.105	
	殻運搬・処理				m ³	0.009	0.010	0.019	0.067		0.105
				t	0.021	0.024	0.044	0.157		0.246	0.2
支承補修工		高機能長耐久性防食防水テープ	面積	m ²					1.02	1.02	1
仮設工	単管足場		面積	掛m ²	-	-	6.00	-		6.00	6
	土のう積		面積	m ²	-	-	-	5.20		5.20	5
	土砂等運搬	小規模	体積	m ³				1.80		1.80	2
	残土処分	小規模	体積	m ³	-	-	-	1.80		1.80	2

§ 2. 断面修復工数量計算

2-1. 上部工

2-1-1. 主桁

(1) うき

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
G2桁	0.30	×	0.30	×	1	=	0.090	1.200	0.090	×	0.10	=	0.0090	下面
合計					1		0.090	1.200					0.009	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積) = 0.090 m²

カッター延長 = 1.200 m

はつり工 = 0.009 m³

プライマー工 = 0.090 m²

断面修復 (体積) = 0.009 m³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート v = 0.009 m³

W = 0.009 × 2.35 = 0.021 t

(2) 断面修復工集計表 (主桁)

主桁	単位	うき	合計
断面修復工(面積)	m ²	0.090	0.090
カッター延長	m	1.200	1.200
はつり工	m ³	0.009	0.009
プライマー工	m ²	0.090	0.090
断面修復工(体積)	m ³	0.009	0.009

殻運搬・処理	m ³	0.009	0.009
	t	0.021	0.021

2-1-2. 横桁

(1) うき

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m) × 縦 (m) × 箇所 (本) =	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²) × 深さ (m) =	体積 (m ³)	備考
横桁01	0.50 × 0.20 × 1 =	0.100	1.400	0.100 × 0.10 =	0.0100	下面
合計	1	0.100	1.400		0.010	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工（左官工法）

断面修復（面積）	=	0.100 m ²
カッター延長	=	1.400 m
はつり工	=	0.010 m ³
プライマー工	=	0.100 m ²
断面修復（体積）	=	0.010 m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.010 m ³
	W = 0.010 × 2.35 =	0.024 t

(2) 断面修復工集計表（横桁）

横桁	単位	うき	合計
断面修復工(面積)	m ²	0.100	0.100
カッター延長	m	1.400	1.400
はつり工	m ³	0.010	0.010
プライマー工	m ²	0.100	0.100
断面修復工(体積)	m ³	0.010	0.010

殻運搬・処理	m ³	0.010	0.010
	t	0.024	0.024

2-1-3. 床版

(1) 変形・欠損

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
床版01	0.60	×	0.20	×	1	=	0.120	1.600	0.120	×	0.10	=	0.0120	左側面
〃	0.60	×	0.10	×	1	=	0.060	1.400	0.060	×	0.10	=	0.0060	下面
合計						2	0.180	3.000					0.018	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工（左官工法）

断面修復（面積）	=	0.180	m ²
カッター延長	=	3.000	m
はつり工	=	0.018	m ³
プライマー工	=	0.180	m ²
断面修復（体積）	=	0.018	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.018	m ³
	W = 0.018 × 2.35	= 0.042	t

(2) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
床版04	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.10	=	0.0010	下面
合計						1	0.010	0.400					0.001	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工（左官工法）

断面修復（面積）	=	0.010	m ²
カッター延長	=	0.400	m
はつり工	=	0.001	m ³
プライマー工	=	0.010	m ²
断面修復（体積）	=	0.001	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.001	m ³
	W = 0.001 × 2.35	= 0.002	t

(3) 断面修復工集計表（床版）

床版	単位	変形・欠損	剥離・鉄筋露出	合計
断面修復工(面積)	m ²	0.180	0.010	0.190
カッター延長	m	3.000	0.400	3.400
はつり工	m ³	0.018	0.001	0.019
プライマー工	m ²	0.180	0.010	0.190
断面修復工(体積)	m ³	0.018	0.001	0.019

殻運搬・処理	m ³	0.018	0.001	0.019
	t	0.042	0.002	0.044

2-2. 下部工

2-2-1. A1、A2橋台

(1) 変形・欠損

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A1橋台	0.30	×	0.10	×	1	=	0.030	0.800	0.030	×	0.10	=	0.0030	正面
〃	0.70	×	0.20	×	1	=	0.140	1.800	0.140	×	0.10	=	0.0140	〃
〃	1.20	×	0.20	×	1	=	0.240	2.800	0.240	×	0.10	=	0.0240	〃
A2橋台	0.20	×	0.30	×	1	=	0.060	1.000	0.060	×	0.10	=	0.0060	〃
〃	1.00	×	0.20	×	1	=	0.200	2.400	0.200	×	0.10	=	0.0200	〃
合計							0.670	8.800					0.067	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.670	m ²
カッター延長	=	8.800	m
はつり工	=	0.067	m ³
プライマー工	=	0.670	m ²
断面修復 (体積)	=	0.067	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.067	m ³
	W = 0.067 × 2.35	= 0.157	t

(2) 断面修復工集計表 (A1、A2橋台)

A1、A2橋台	単位	変形・欠損	合計
断面修復工(面積)	m ²	0.670	0.670
カッター延長	m	8.800	8.800
はつり工	m ³	0.067	0.067
プライマー工	m ²	0.670	0.670
断面修復工(体積)	m ³	0.067	0.067

殻運搬・処理	m ³	0.067	0.067
	t	0.157	0.157

2-3. 断面修復工集計表 ポリマーセメントモルタル

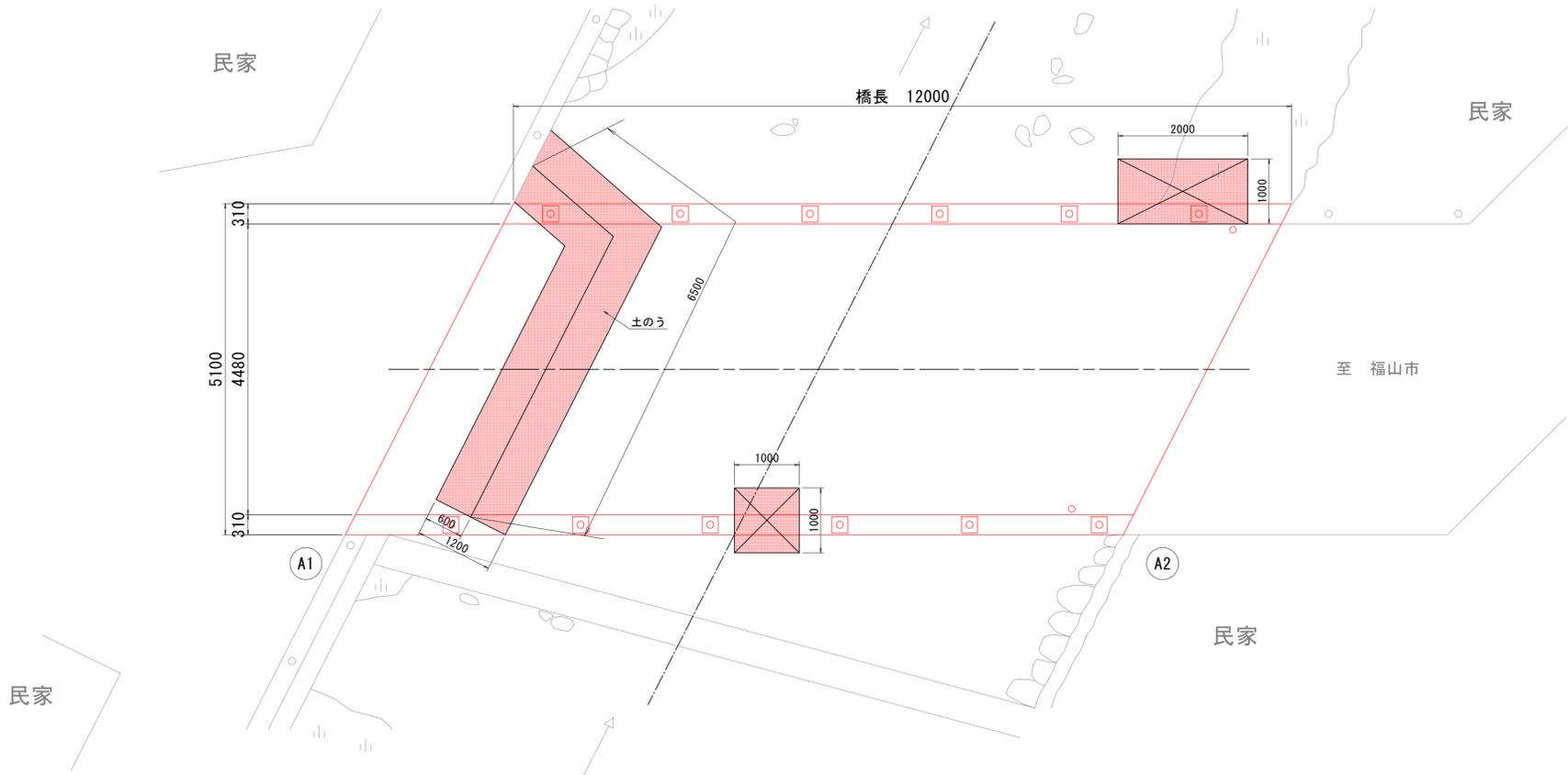
	単位	主桁	横桁	床版	A1、A2橋台	合計
断面修復工(面積)	m ²	0.090	0.100	0.190	0.670	1.050
カッター延長	m	1.200	1.400	3.400	8.800	14.800
はつり工	m ³	0.009	0.010	0.019	0.067	0.105
プライマー工	m ²	0.090	0.100	0.190	0.670	1.050
断面修復工(体積)	m ³	0.009	0.010	0.019	0.067	0.105

殻運搬・処理	m ³	0.009	0.010	0.019	0.067	0.105
	t	0.021	0.024	0.044	0.157	0.246

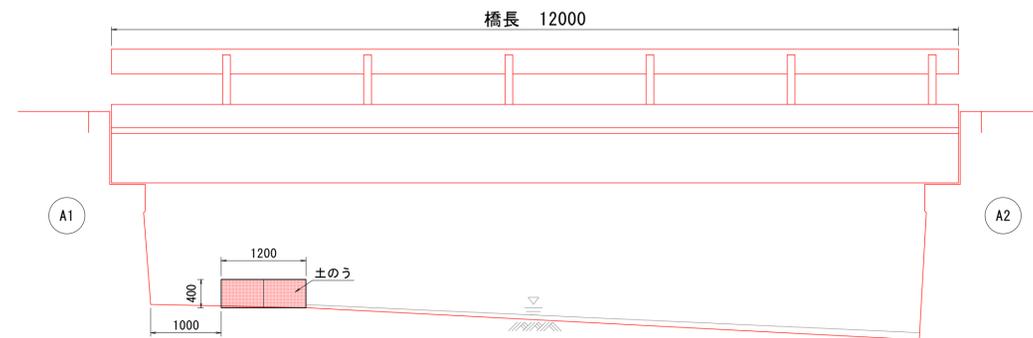
図面番号	1 / 1	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	仮設計画図	番号	1 / 1
路線名	栗根橋 (栗根中野幹線)		
工事箇所	福山市加茂町地内		
福山市			

栗根橋 仮設計画図

平面図 S=1:50



側面図 S=1:50



注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。